

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	理知の杜ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 理知の杜

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務	経済経営学科		675 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

事務室内にて刊行物として公開している

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	理知の杜ビジネス専門学校
設置者名	学校法人理知の杜

1. 理事（役員）名簿の公表方法

事務室にて刊行物として公開している

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2012. 10. 23 ～ 2024. 10. 23	経営方針の策定
非常勤	都職員	2022. 1. 28 ～ 2026. 1. 27	経営方針の策定
非常勤	会社員	2023. 4. 1 ～ 2026. 9. 28	経営方針の策定
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	理知の杜 ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 理知の杜

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>○授業担当予定教員を決定し、教務部中心に教育課程を見直し、授業計画を行う。 ○到達目標をしっかりと設定して、学生の実態をつかみ、授業内容を構築していく。 ○授業においては、学生アンケートや到達度を的確にとらえて、内容を修正しながら「目標達成に近づいていくように展開していく」 ○非常勤講師にも授業の進め方や、考え方をしっかりと説明し、正確に把握したうえで進めていけるようにする。 ○シラバスが完成したら、概要を学生にも説明する時間を設け、事務室に刊行物として設置し、公開する。 ○成績評価の規準・基準については、教務部を中心に話し合い、ホームページ並びに学生へ公開する。</p>	
授業計画書の公表方法	刊行物としてシラバスを事務室にて公開している
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>○学生に対して、授業の終わりに感想や質問事項を書かせたり、單元ごとに小レポートを書かせたりしている。個々の発言も大切にし、その発言に対して教師が必ずレスポンスすることを心がける。 ○学生の作品やレポート、ノートなどをこまめに点検し、一人一人に的確な段階の評価を与える。段階評価した後は、個別に今後の目標修正をしながら少しずつ評価規準(教科のねらい)達成に近づけていく。 ○出欠席を厳格に記録し、その都度記録を明示する。最終的には進級・卒業判定にも大きく影響する旨も明確にしておく。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○本校の規定に基づき、全科目による共通評価基準として、定期試験の成績および平素の勉学状況等を加味した成績によって、100点満点で評価する。ただし、語学や情報科目等については、出席・平素の成績・レポート・作品の出来栄などで認定することもある。</p> <p>○評価については、他教科とのバランスも考慮しつつ、公正かつ大きな不均衡が生じないように配慮していく。</p> <p>○具体的にはホームページに掲載してある。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページに「成績評価基準等について」として公開 https://rbc.ac.jp/document.html#filedownload</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>○学則に、卒業は進級の基準を満たし、かつ卒業に必要な全科目の単位を修得したことが認められる学生について卒業を認定し、卒業証書を授与する。卒業にあたっては、 「専門士」の称号を付与することと定めている。</p> <p>○卒業時には、卒業審査判定会議を経て校長が認定する。</p> <p>○認定については次の各号に掲げる基準を満たしている者に限る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該年次に開設している全科目の単位が認定されたこと ・学年末において年間授業日数の3分の2以上出席していること ・学納金が金額入金されていること 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページに「進級・卒業・留年等」として公開 https://rbc.ac.jp/document.html#filedownload</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	理知の杜 ビジネス専門学校
設置者名	学校法人 理知の杜

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	刊行物【財務諸表】として事務室にて公開
収支計算書又は損益計算書	刊行物【財務諸表】として事務室にて公開
財産目録	刊行物【財務諸表】として事務室にて公開
事業報告書	刊行物【財務諸表】として事務室にて公開
監事による監査報告（書）	刊行物【財務諸表】として事務室にて公開

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
商業実務		商業実務専門	経済経営学科	○			
修業 年限	昼夜 n	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1725 単位時間/単位	単位時間 1375/単位	単位時間 /単位	単位時間 350/単位	単位時間 /単位	
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		14人	14人	5	2人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 教務部・担当教員を中心に年間授業計画を立案し、方法・内容・到達目標・成績評価の方法を定め、シラバスを作成して事務室にて公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価基準をしっかりと定め、【成績評価基準】としてHPにて公開している。
卒業・進級の認定基準
（概要） 卒業・新旧判定について方針を定め【進級・卒業・留年要件】としてHPにて公開している。
学修支援等
（概要） 試験不合格については、該当科目において追試験を受けることができる。出席時間不足については一定条件のもと補充を受けることができる。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25 人 (100%)	1 人 (%)	20 人 (%)	4 人 (%)
(主な就職、業界等) ホテル、教育関係等			
(就職指導内容) ○面接・履歴書作成の指導、就職セミナー・企業展の紹介及び引率 ○リクナビなど大手就職サイト登録と活用方法の指導 ○事務局にて渉外活動し得た求人への紹介など			
(主な学修成果（資格・検定等）) ○日本語能力検定試験(JLPT)・・・N1(1名),N2(4名),N3(8名)合格、 ○実用日本語検定(J-TEST)・・・D-Eレベル(1名)			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
4 年度当初在学者数	年度の途中における退学者の 数	中退率
44 人	7 人	15.9%
(中途退学の主な理由) 5 名・就職、 2 名・家庭の事情により帰国		
(中退防止・中退者支援のための取組) ○個人面接を通して、本人の希望を最大限に生かした進路相談を行いたい。 ○卒業まで就職を待つよう指導、4 月度の就職の斡旋紹介		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
経済経営	100,000 円	550,000 円	210,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://rbc.ac.jp/document.html#filedownload		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校評議員と(企業委員2名・地元委員2名)と校内委員1名の計5名で構成。 校内の自己評価結果を受けて、その評価の妥当性を評価する。その結果をまとめて公開する。</p> <p>文部科学省の「学校評価ガイドライン」に則り、自己評価委員が現状の問題点を総合的に評価し、自己評価報告書案を作成する。その内容を学校関係者評価委員会にて検証していく。具体的に、電気設備の不良等にて停電等で女子寮より使用に不満が度々上がっていた問題では、今年度7月度より新しく新設された寮に移転することで、設備を新しくし、不満に対応する。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岡崎シビコ	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	企業委員
商店主	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	企業委員
学識経験者	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	地元委員
司法書士	令和5年4月1日～ 令和7年3月31日	地元委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://rbc.ac.jp/document.html#filedownload		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

<p>(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://rbc.ac.jp</p>
--

